



市議会11月定例会で可決されました

11月26日～12月18日に開催された市議会11月定例会で可決された主な内容をお知らせします。

条例案件

吹田市名誉市民条例の制定

市民から吹田市の誇りとして深く尊敬されている人に対して、名誉市民の称号を贈ります。

市職員、特別職、議員の期末手当の削減

一般職(再任用職員を除く)の職員、市長などの特別職と市議会議員の期末手当を、令和2年度12月期は0・05月分、令和3年度以降は6月、12月期ともに0・025月分を現行月数から削減します。

予算案件

市民病院へ運営資金の貸付

新型コロナウイルス感染症拡大

大の影響により厳しい資金状況となっている市民病院へ資金の貸し付けを行います。

10億2000万円

心不全予防のための保健指導体制の構築

国立循環器病研究センターの知見を活用した心不全予防のための保健指導をモデル的に実施し、保健指導体制の構築に向けて検討を行います。

155万円

私立小規模保育事業所の整備へ助成金交付

民間事業者が賃貸借物件を改修し、小規模保育事業所を整備する費用の一部を助成します。

4152万円

新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン関連予算

低所得のひとり親世帯に臨時特別給付金を再支給

1世帯につき5万円、第2子以降1人につき3万円の給付金を再度支給します。

1億6820万円

高齢者施設などの入所に伴うPCR検査等費用を補助

新型コロナウイルス感染者やクラスターの発生を防ぐため、同施設が負担する新規入所者などへのPCR検査などの費用を補助します。

3414万円

審議内容は、3月1日発行の市議会だよりに掲載されます。

教育長に西川俊孝さん

市議会の同意を得て、教育長に西川俊孝さんが就任しました。任期は12月24日から3年。



西川俊孝さん

教育委員の選任

市議会の同意を得て、教育委員に安達友基(ともき)さん、飴野仁子(ひとこ)さんが就任しました。安達さんは2期目です。任期は12月25日から4年。

市長コラム No.66

こも水び通り

後藤圭二



変わるもの、変わらないもの



コラムの音声版はこちら

日頃肌で感じている社会の変化を改めて数字で示されると驚くことがあります。データによると、かつて適齢期と呼ばれた30～34歳の男性の半数が未婚、25～29歳の女性も5人に3人が未婚とのこと。しかも男性の4人に1人、女性の6人に1人は生涯未婚です。

40年前には世帯の半数が3世代同居、私も50年前、祖父母と暮らしていましたが、2017年には3世代同居の割合は1割程度。また、共働き家庭もこの40年で片働き家庭の2倍となり、完全に逆転しました。

こうして変化し続ける社会においては、30年後

の「標準的な家庭の姿」はもはや想像することすらできません。

しかし、私たちは人間であり、動物です。万葉の時代の歌心に今も共感できるように、愛情や幸せ、喜怒哀楽といった人の心根が今後大きく変わることはないでしょう。

科学技術の粋を集め、何年もかけて太陽系や生命の誕生の秘密に迫るミッションを成功させた「はやぶさ2」の仕事ぶりに、変わらない人間の強さと英知に期待を抱き「もっと幸せな未来が待っているかも知れない」と思うのです。